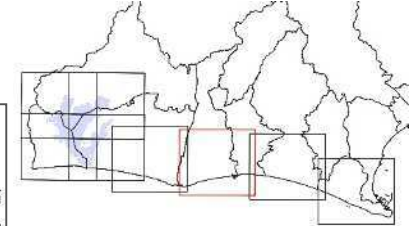


本参考図は、静岡モデル防潮堤等の施設の高さが、想定し得る最大規模の高潮来襲時においても維持され、その効果が最大限発揮された場合の評価を静岡県が独自に行ったものであり、今後、新たな知見が得られた場合には、必要に応じて見直しを行います。(本参考図の活用にあたっては、注意事項をご確認ください。)

【位置図】



【凡例】

浸水深(m)	
5.0m以上～	
3.0m以上～ 5.0m未満	
1.0m以上～ 3.0m未満	
0.5m以上～ 1.0m未満	
0.3m以上～ 0.5m未満	
0.01m以上～ 0.3m未満	

【注意事項】

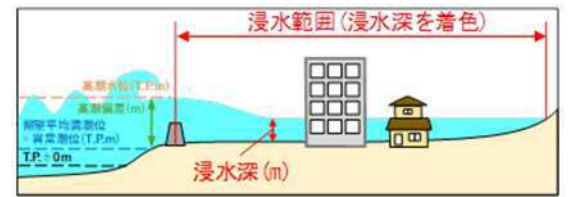
- この参考図は、仮に静岡モデル防潮堤等の施設が決壊せず、最大限効果を発揮した時の浸水範囲を、今後の防災・減災対策を検討する上での参考として公表するものです。
- 想定し得る最大規模の高潮に対する避難を中心とした高潮防災対策の検討は、最悪の事態を想定した「高潮浸水想定区域図(浸水区域及び浸水深)」「高潮浸水想定区域図(浸水継続時間)」に基づいて実施してください。
- この参考図と水防法に基づく高潮浸水想定区域図を比較し、浸水しなくなるとされた地域においても、高潮による浸水の危険性がなくなるということではありません。
- 確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町が作成するハザードマップ等を活用してください。
- この参考図は、静岡モデル防潮堤を整備した、あるいは整備を進めている市町(焼津市、掛川市、袋井市、磐田市、浜松市)において、静岡モデル防潮堤が完成した状態で高潮浸水シミュレーションを実施しています。
- 水防法に基づく高潮浸水想定区域図の静岡モデル防潮堤等の施設は、設計条件に達した段階で決壊するなどの条件を設定し、高潮浸水シミュレーションを実施しますが、この参考図は、同条件においても静岡モデル防潮堤等の施設が決壊しない仮定で高潮浸水シミュレーションを実施しています。防潮堤等の施設決壊の有無以外の条件については、「静岡県高潮浸水想定区域図について<遠州灘沿岸>(解説書)」に記載してあるとおりです。なお、上記の仮定条件は、実際の高潮に対して静岡モデル防潮堤等の施設高や構造を維持することを保証するものではありません。
- 今後、新たな知見が得られた場合には、必要に応じて見直しを行います。

【基本事項】

(1) 作成主体	静岡県
(2) 作成年月	令和7年3月
(3) 対象とする高潮	中心気圧910hPaの台風による高潮
(4) 台風の移動速度	40km/h、50km/h、73km/h

【用語の解説】

浸水範囲：高潮や高波に伴い浸水が想定される範囲
 浸水深：陸上の各地点での地面から水面までの高さ



静岡モデル防潮堤については完成形としているが、その他の防潮堤等の施設は令和4年度末時点の整備状況を基にしている。
 この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R6JHs6)